



ライフドアすわ 地域ケア会議通信

発行：諏訪市地域医療・介護連携推進センター ライフドアすわ
〒392-0027 諏訪市湖岸通り5-12-5 Tel:0266-78-0477
e-mail : info@lifedoor-suwa.jp



第4回諏訪市地域包括ケア推進会議

金子市長あいさつ（要旨）

本年度、新たに地域包括ケア推進会議を設けて4回の開催を目標とし、話し合いを重ねてきました。今後ますます増える高齢者をどのように支援していくか、本日お集まりいただいた医療、介護、福祉の多職種の皆様が、それぞれ持っている知見を寄せ合って、連携して見守られる本人の負担を少なくして、誰もが安心して暮らせる住みよい社会を作っていく取り組みとなります。

この会議は、何か結論をだすものではなく、様々な事例をテーブルに乗せて、改めて新たな知恵や発見を持ち帰り、現場でいかしていくものと理解しています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

開催期日・参加者内訳

- * 日 時 2月15日（木）13:30～15:00
- * 場 所 諏訪市総合福祉センター交流ひろば
- * 参加者 40名
- * 内訳
 - 医師1名 薬剤師2名
 - 介護支援専門員13名
 - 主任介護支援専門員4名
 - 介護福祉士2名 看護師・保健師5名
 - 社会福祉士1名 リハビリ職2名
 - 生活支援コーディネーター1名
 - ボランティアコーディネーター1名
 - その他8名

ケース検討事例

初回相談日	R5.9.25	障害自立/認知症	J1/IIb
年齢/性別	70歳 男性	要介護区分	要支援2
特徴(要となる問題点)	1. 意欲低下 2. 筋力低下 3. 認知症 4. 肺機能低下(持病の悪化) 5. その他()		
申請・相談内容	精密会社の事務職として68歳(初回相談日の1年半前)まで働いた。R5.6に1人で車で出かけ、事故をおこし、警察官から住所を聞かれたが上手く答えられなかった。この時以降、1人で外出すると家に戻れなくなることがあり、警察に保護されたこともあった。R5.9にアルツハイマー型認知症の診断があり、HDS-R20点。メモリーの服薬開始。日中、独居になるため、見守りが必要で何らかの支援を受けたい。		
住環境 世帯・家族情報	平地の県営住宅の2階で妻と2人暮らし。子どもはいない。歩行は自立しているため、住宅の階段昇降は可能。退職するまで忙しく働いていたため、友人やご近所付き合い、県営住宅内での関わりはない。妻は9時から16時ぐらいまで4日/週程度働いている。		
身長 体重 BMI	身長 164cm 体重 57kg BMI 21.2		
医療情報	【内科】通院中 高血圧 【整形外科】通院なし 時々腰痛がある 【脳神経内科】通院中 アルツハイマー型認知症		
服薬情報	【内科】アダラート(20)2錠 2回(朝・夕)、モーステープ(腰が痛い時貼用) 【脳神経内科】メモリー(20)1錠 朝1回		
生活状況 (今までの生活含む)	事務職として45年ほど勤務。真面目で責任感が強い性格で、仕事中心の生活だった。時々夫婦で旅行を楽しんだが、特別な趣味はないという。退職してからも特にしたいこともなく、1日テレビや新聞を見て過ごしていた。 R5.4以降、徐々に買い物の支払いが困難な様子が伺えたり、依頼したことを忘れて、物の紛失が目立つようになった。R5.6に事故をおこし、R5.9に認知症の診断が下り、渋々車の運転免許を返納。1人で外出すると、戻って来ることが難しくなり、警察に保護されることもあった。また、朝「仕事に行く。」と言い、スーツを着て会社に行こうとするため、退職したことを説明すると一旦は納得するが、翌日には忘れて同じ行動をする。納得せず外に出してしまう時は、妻は本人の後をついて行き、タイミングを見計らって家に帰るように促している。		
望む暮らし	本人：高齢者がいるデイサービスにはまだ行きたくない。 妻：日中、1人で過ごすため、家に戻れなくなることが心配。 仕事しかしてこなかった人が、見守ってもらいながら通える場所があると良い。		
フォーマルサービス	・見守りネットワーク、見守りシール、認知症高齢者個人賠償責任保険加入		
インフォーマルサービス			
モニタリング・評価	状況	妻は介護保険の通所サービスを利用してほしい気持ちはあるが、本人は必要としていないため、介護保険サービスの利用はない。介護予防教室やサロンを提案したが、興味がなく繋がらなかった。本人が「仕事に行く。」と家を出てしまう時は、妻は付き添い、家に戻れるよう対応している。	

(高齢者福祉課の補足説明)

- ・情報はこの紙面のみです。実際に支援にかかわる場合は、趣味はないのか、仕事は何をしていたのかなど、もっと多くの情報を収集しようと思いますが、本日の会議で検討する、この事例では、仕事を一生懸命頑張ってきた方で、職業は事務職という以外情報はない状態です。この情報から推測して、どう支援していくか検討していきます。

(事例検討の主な意見)

◆この事例の方が今以上に自立するためにはどのようにしたらよいか、アイデアはありませんか。

◇理学療法士：難しい事例ですが、結構こういう方は自分も関わっているなど印象を持ちました。支援の仕方としては、①認知症の人ができること、できないことを明確にして支援していく。②徘徊予防や見守りシステムなど持ち歩いてもらうなど機械を使って支援する。③働きたい方には、「宅老所いぶき」のような就労プログラムを取り入れた施設で働くことがよい。就労の受け皿が色々あることが理想だと思う。

◆認知症の方が誰かの支えがあれば働ける、役に立てるというところで意見交換できませんか。

◇居宅介護支援事業所：本人にとって仕事の意味は何なのか。賃金か、やりがい、承認欲求か、それを深掘りしての仕事のマッチングになるのかなと思いました。

◇ケアマネ：私のケースでは脳出血の後遺症で要支援 2の方がいます。東京に遊びに行くお金を稼ぎたいということで、行政と相談して就労支援 B で進めようと相談しましたが、とにかく就労先が少なく、本人はパソコンを使って片手だけでできる仕事をしたいと思っていますが、現状、公共交通機関を使って自分で職場に行けなければ職はない、迎えに来てくれる IT 関係の仕事はないという状況にあります。結局お金を稼ぎたいので全く経験のないパン作りの仕事に見学に行ってみようという所で止まっているところです。

◆家にいる人を外に送り出して、誰が支援していくかという所で、こんなことがあったらいいと思うことは…。

◇ライフドアすわ：ライフドアすわでは「認知症カフェえがお」を毎月第 3 火曜日に開催していますが、認知症本人はもちろん、介護をしている家族、専門職、認知症カフェに興味のある地域の方など様々な立場の参加者がいます。この事例の本人や介護する妻が認知症カフェに参加して、認知症について知ってもらう、どんな対応をすればいいか知ってもらうきっかけになればいいかなと思いました。また、とても元気な方なので、認知症カフェに認知症の方でもボランティアで活躍できるかもしれないと思いました。

諏訪市ではないですが、認知症の方が地域で活躍することを大切にする地域があり、街の花壇の手入れ、地域の防犯パトロール、近所の掃き掃除などボランティアをすることで認知症の方と地域とつながっている所があるという情報があるのでお話しさせていただきました。

◆やりがいという意味でボランティアというのでもいいかと思いましたが、それに関連する意見はありますか。

◇社協ボランティア担当：家でできるような作業ボランティアや、ボランティアセンターに通いで顔をだしてもらって古切手の整理などのボランティアの手作業を案内することができると思いました。また、末広に誰でも集えるスペース「みんなの広場ゆめひろ」がありますが、ここには場所を開ける当番のボランティアの方もいて、シニア大学の卒業生や在校生が地域との関りを持ちたいということで活動しているので、この事例の 70 歳くらいの方なら、毎日通いで、そこで交流や活躍がきるのではないかと感じました。

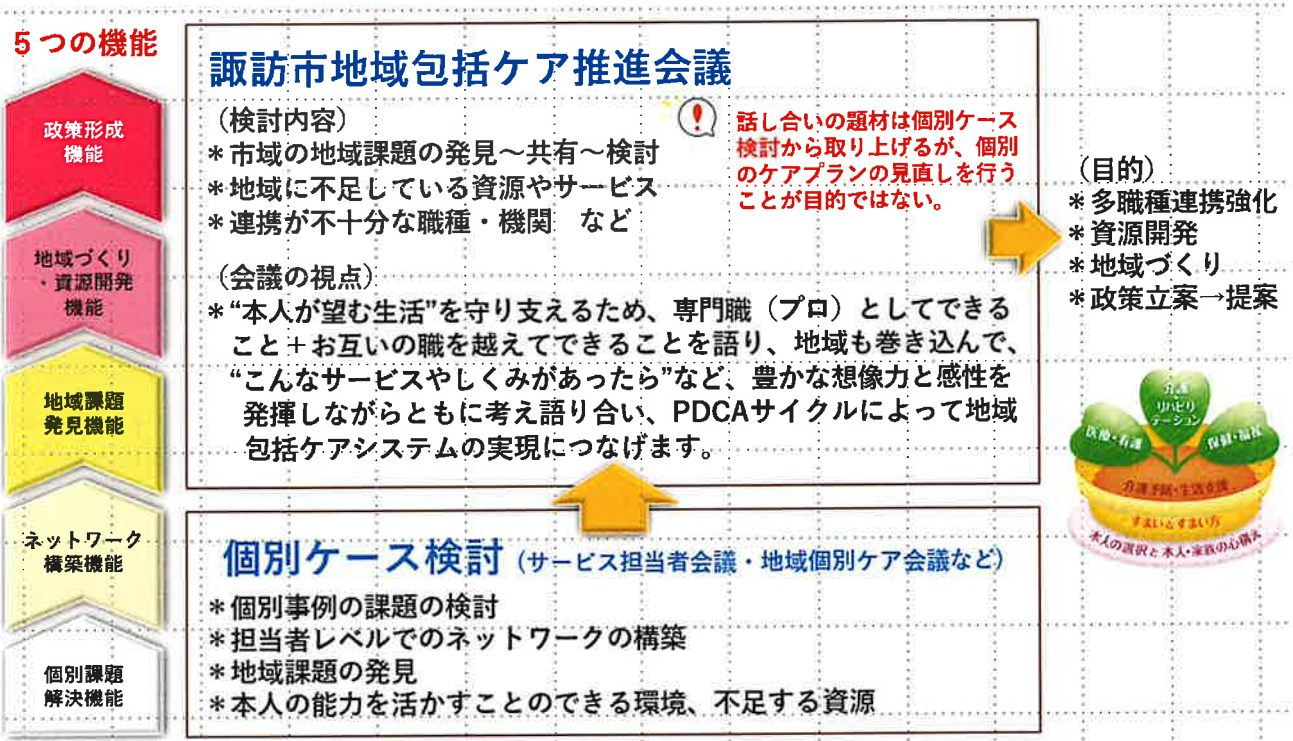
◇高齢者福祉課：認知症基本法の施行にともない、国の計画を踏まえて市の計画をつくっていくところですが、認知症の方の意見を聞きながら、認知症の方でも地域の中で働ける環境整備を、また民間企業と連携しながら働ける状況を整えていく施策を市の計画の中に盛り込んでいきたいと考えています。

◆総括(ライフドアすわ副センター長)

高齢になっても、認知症があっても本人がしたい、できるようになりたいということ、どういうふうに捉えていかかということだと思います。介護サービスでやろうとしても、本人のやりたいことがすべては賄えないということを、皆さんの発言を聞いて思いました。介護保険の目的は自立した生活を送ることなので、そこを目指して何でもサービスで満たしていくのではなく、介護保険から卒業していくことを再認識し、本人が何を言いたいのか、何をやりたいのかを時間をかけながら探っていくことが必要だと思います。



地域包括ケア推進会議の目的と意義について (高齢者福祉課説明資料)



◆参加者アンケート結果

質問 高齢者の自立生活支援をする上で役立つ、改善すべき点が得られましたか。

- ・個人でも組織でも目指しているもの、目指さなければならないことがあります。ヒントをいただきました。
- ・支援のヒントをもらえたような気がする。
- ・介護保険だけでなく必要な資源があることがよくわかった。
- ・様々な意見を聞かせて頂き、多視点の必要性和自分の中で視野を広げられたような気がする。
- ・地域としての広い視野でケアを考えていくことの大切さを学んだ。
- ・地域の課題や介護サービス外での支援方法などを得られた。
- ・宅老所いぶきの発表から社会参加の方法、大切さを再確認できた。

質問 会議に参加した率直な感想、ご意見をお書きください。

- ・発言された方の意見を聞くことで自分の考えの幅が広がる。多くの方が参加されているが、少数の意見しか聞けないのはもったいない気がした。
- ・宅老所いぶきさんの活動内容に大変感銘を受けました。協力してくれる企業が増えていくことを願います。
- ・この会議が自立支援につながる、地域資源につなげるようになれば良いと思います。
- ・介護保険を使わない方々のサービスが必要だと感じました。
- ・初めての参加のため、すべてが勉強になりました。
- ・介護サービスだけでなく、いろいろな社会資源を活用していきたい。
- ・私は実習生として初めて参加させていただきました。事例の検討は、いろいろな意見を聞くことができ、今後の取り組みの参考にさせていただき、自習していきたいです。
- ・参加者に介護職が多いので一般の方の意見も知りたいと思う。特に高齢者の方の話が聞きたいです。
- ・様々な活動、サービスがあることを初めて知ることができ、大変勉強になりました。